

(学校番号68) 令和4年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【芝川小学校】

4月28日		
目標・策		
知識・技能	R3全国学力・学習状況調査及びR元年度市学習状況調査の自校の結果より国語・算数の「知識・技能」において3pt向上させる。	⇒ 国語、算数において、ICT活用を活動の軸にし、発問の仕方、板書、教材教具を組み合わせた授業を実践することで、学習内容の定着に努める。
思考・判断・表現	R3全国学力・学習状況調査及びR元年度市学習状況調査の自校の結果より国語・算数の「思考・判断・表現」において3pt向上させる。	⇒ ムーブメントやオクリンク等の共同学習ツールを活用する能力を高め、教え合う、学び合う活動を保証することで、自らの考えを自由に表現できるようにする。
主体的に学習に取り組む態度	「ICTを活用した授業が楽しくわかりやすいと思うか」というアンケートを新設し、肯定的な回答をする児童の割合を80%まで到達させる。	⇒ 全教科において「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」にICTを活用し、主体的に学ぶ意欲を高めさせる。

9月2日		
中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
知識・技能	算数においては目標に届かなかったため、方策を追加し、さいたま市学習状況調査において、R元年度の平均正答率と比較し、2ptの向上を目指す。	⇒ ICTの活用を活動の軸にしていくことは変えないが、反復練習を学習の中で積極的に取り入れていく。
思考・判断・表現	算数においては目標に届かなかったため、方策を追加し、さいたま市学習状況調査において、R元年度の平均正答率と比較し、2ptの向上を目指す。	⇒ 図形の問題に課題があるため、ICTを活用しながら視覚的捉えられるに授業を改善していく。また、他者と関わる機会を意図的に設定し、他者に伝える活動を増やしていく。
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒ 変更なし

8月25日	
全国学力・学習状況調査結果・分析	
<p>R4年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、R3年度全国学力学習状況調査の自校の結果と比較し、国語+6pt、算数-4ptであった。国語では、「言語の特徴や使い方に関する事項」では市平均を下回ったものの我が国の言語文化に関する事項では市平均を上回っていた。算数では各領域において市の平均を下回る結果となった。</p> <p>R4年度全国学力・学習状況調査の「思考・判断・表現」において、R3年度全国学力学習状況調査の自校の結果と比較し、国語±0pt、算数-10ptであった。国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域において昨年度よりも下回っているが、「読むこと」の領域については昨年度より大きく上回った。算数では図形の構成する要素に注目しながら構成の仕方について考察することが課題であった。</p> <p>「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」というアンケート項目において、95.6%の肯定意見となった。「ICTを活用した授業が楽しくわかりやすいと思うか」の項目を学校アンケートに新設し検証していく。</p>	

2月〇〇日			
さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3		小4	
小5		小6	

2月〇〇日		
成果指標に対する達成状況	評価(※)	
知識・技能		
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

3月〇〇日	
次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

※評価
 A 8割以上(達成) C 4割以上(あと一歩)
 B 6割以上(概ね達成) D 4割未満(不十分)